

# ヤリ才便り

## 九月号

- 2024 -



良師は如何に見つけるか。それには師たるべき人の私生活を観察するのが捷徑である。

野口明



※西村計雄「風車」号1967年

あの略地球が沸きわらうと云ふの  
ようにまたい酷暑の深夜に聞こえて  
来た虫産のコーラスは爽やかな響きまで  
しばらく聴き入ろうとしたのでした。  
皆様のいかにお遊ばさうか。今月はさきさき新刊の  
コラム「きょうの言葉」野口明氏(お茶の水女子大学初代  
学長)書かれて下さるは翻訳家・矢口誠氏(ごも勉強  
に励まそうコラム)です。仕事や芸事でも師事する相手  
も選ぶ場合でも云うことやその事にズレがある人に付く  
いけば、いつか失望することになる。仕事と私生活・能力  
と。人間性は切り離して考える現代では当たり外れになら  
ざるが、公私共に尊敬されて行動の指針とすべきよう  
師との出会いは人の人生を大きく変えたり結んでくれた。  
そこであえて私流に付け加えれば完璧な人はある意味  
魅力に欠け、クセや短所の中に個性が見え隠れするので又  
人間で要は退大評価をしてダメされたと感じていらい  
理想と現実とを持つ謙虚さや包容力が必ず身になるだ  
と年齢を重ねてゆく思ふこと、改訂です。

人皆師と云ふ言葉に行き着くようです。  
天高くくうろく、雲が浮かぶ虫産のコンサートは  
目ごとに元々の塔々々です。(心)  
人格性格+哲学「人間が生まれるから持つべき性格  
と、その後の人生を歩む過程で学ぶ自身につけていく  
哲学の両方から人格と云ふものは成り立ちます。性格と  
いう先天性のもので折口学と云う後天性のものをつけ加え  
ていくことにより私たちの人格は陶冶されていく(福盛和夫)  
季節の変わり目ご自愛下さいませ。敬白

令和六年九月吉日

松本幸一

